

焼酎づくりの流れ



5月上旬
畑の整地・畝づくり



5月中旬
芋苗切り



5月下旬
芋苗植え



6月上旬
田植え



10月上旬
小正醸造(株)
工場見学



10月中旬
稲刈り・脱穀



11月上旬
芋の収穫



11月上旬
芋・米の搬入

焼酎づくり(杜氏体験)



払い



仲仕事



仕舞仕事



一次仕込み



攪拌



二次仕込み



攪拌



蒸留

焼酎ラベル作成

ラベル貼り

完成



美術の授業での制作
とラベル鑑賞会の様子

完成品



ラベルを貼った瓶と化粧箱



生徒作品

～生徒の感想から～

- 貴重な体験ができてうれしかった。この伝統を受け継いでいてもらいたい。
- ラベルも自分で作ったので、本当にMy焼酎だなあと考えた。
- 3年生だけではなく、保護者、地域・工場の方々の支えもあり、つくれました。感謝の気持ちを忘れないようにしたいです。
- さまざまな活動の中で、多くの方に支えられていると実感できた。
- どの体験も楽しかった。友人との仲も深まって良かった。

～保護者・地域企業等の感想から～

- 子どもたちの頑張っている姿や、楽しみながら体験している姿が見られて、すごく良かったです。
- 先生方、お手伝いして下さった地域の皆様、他の保護者に感謝の気持ちでいっぱいです。
- 焼酎づくりを通して、子どもたちに働くことの大切さやものをつくることの喜びを教えることがうれしく感じている。成人したとき、学生時代の活動を振り返り、そのときにまた新たな何かを感じてほしい。

【キャリア教育における成果と課題】

【成果】

- 作物の収穫や焼酎の完成で達成感を味わい、勤労の意義を理解することができた。
- 分担された役割が、それぞれ責任ある仕事であることを理解することができた。
- 作業を行う際のコミュニケーションの大切さに気づくことができた。
- きつい体験を乗り越える忍耐力の大切さを実感することができた。
- 体験・学習したことを適切にまとめることができた。

【課題】

- 体験学習にウエイトがおかれるため、事前の課題探求の活動が十分に実施できなかった。
- 生徒による工場見学等の計画をする時間の確保ができなかった。
- 2,3人という小規模集団での活動のため、リーダーシップを発揮できる機会があまりなかった。

【焼酎づくりの成果と課題】

【成果】

- 土曜授業を活用しての総合的な学習の時間の取り組み。
- 地元の住民や企業との連携。
- 農業体験実施による、農業や食に関する興味・関心の高まり。
- 焼酎づくりを通しての、家庭・地域とのより深い関わり。

【課題】

- 限られた時間での体験活動。(時間確保)
- 保護者会の発足時期と在り方。
- 毎年確実に焼酎づくりを実施するための田・畑の確保。
- 焼酎の搬入が2月下旬であることによる、活動の長期化。
- 生徒減少による活動の縮小化。

My焼酎づくり
地域の良さ
伝統・誇り



ご静聴
ありがとう
ございました。



My焼酎づくり
人とのつながり
支え合い